

柏市地方創生先行型事業 評価シート

7 創業・起業支援事業補助

担当部署 経済産業部 商工振興課 担当者 原田圭介 連絡先 内線439

目的 地元経済界と連携(柏商工会議所への補助)することにより、創業予定者及び創業して間もない経営者等に対し創業支援を行い、本市での創業の促進を通じた産業の活性化を図ることを目的とする。

経費概要
 ・講師謝礼 232,200円 ・委託費 1,985,040円
 ・相談員旅費 1,458円 ・事務費 132,325円
 ・会場費 213,840円 ・広報費 215,730円
 交付事業に要する経費 1,853,000円

対応する総合戦略の重要業績評価指標 基準値 目標値

23 ページ 誘致企業数 0 50

本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値	達成度(%)
	指標①	創業件数	20件	17件	85%
	指標②				
	指標③				
	指標④				

事業効果(自己評価)
 ○ ①地方創生に非常に効果的であった
 ②地方創生に相当程度効果があった
 ③地方創生に効果があった
 ④地方創生に効果がなかった

事業概要(進捗)
 【時系列で記入】
 平成27年04月12日 創業予定者向け市内(商店街空き店舗)バスツアー
 平成27年06月21日 創業塾フォローアップ講座
 平成27年09月06日 創業フェア in 柏
 平成27年10月04日, 18日, 11月01日, 08日, 29日 かしわ創業塾(第3期)
 平成27年12月13日 かしわ創業塾オープニングセミナー in 柏の葉
 平成28年01月17日, 24日, 31日, 02月21日, 03月06日 かしわ創業塾(第4期)
 なお、講座修了者の特典として、①株式会社設立時の登録免許税軽減、②無担保・保証人無しで創業関連保証枠を拡大(1000万円→1500万円)、③創業関連保証が創業6ヶ月前から利用可能(通常2ヶ月前)などがある。

成果 専門家による講演だけでなく、先輩創業者による体験談やビジネスゲーム、市内バスツアー等、魅力的なカリキュラムが好評を得て、修了率が97%を超える等(指標に対する創業実績85%)、非常に高い成果が挙げられている。

その他特記事項 参加者アンケートによれば、事業計画書の作成といった正規プログラムから得られる知見の他、参加者同士の人脈形成や商工会議所との信頼関係構築など、副次的な効果についても好評を頂いており、平成28年度も継続して行なっていく。

柏市地方創生総合戦略評価委員による評価

KPIについて	意見
①総合戦略のKPI達成に有効であった	
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

創業・起業支援事業（かしわ創業塾）概要

1 創業予定者向け市内バスツアー

創業予定者の店舗・事務所探しと商店街の空き店舗対策の解決を図る為に実施。

- ・ **日程**：平成27年4月12日
- ・ **場所**：光ヶ丘商店街，増尾西口商店街
- ・ **参加**：かしわ創業塾修了者等10名

2 創業塾フォローアップ講座

昨年修了した創業塾1・2期生を対象に，具体的な事業計画の作成といった実践的な講習を実施。

- ・ **日程**：平成27年6月21日
- ・ **場所**：柏商工会議所
- ・ **参加**：かしわ創業塾修了者等12名

3 創業フェア in 柏

創業塾（第3期）参加を促す為，参加希望者に対して創業支援策の説明や個別相談会を実施。

- ・ **日程**：平成27年9月6日
- ・ **場所**：ザ・クレストホテル柏
- ・ **参加**：16名

4 かしわ創業塾（第3期）

創業予定者を対象に，企業経営に必要な税務・法務・労務・人材育成等の必要な知識習得を目的とした研修。

- ・ **日程**：平成27年10月4日，18日，11月1日，8日，29日
- ・ **場所**：柏商工会議所
- ・ **参加**：24名

5 オープニングセミナー in 柏の葉

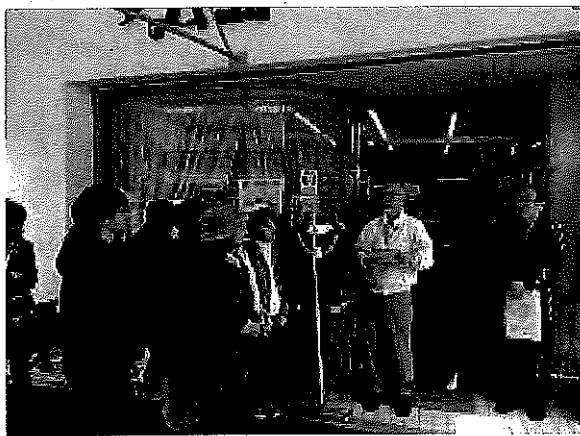
創業塾（第4期）参加を促す為、参加希望者に対して創業支援策の説明や個別相談会を実施。

- ・ **日程**：平成27年12月13日
- ・ **場所**：K.O.I.L
- ・ **参加**：25名

6 かしわ創業塾（第4期）

創業予定者を対象に、企業経営に必要な税務・法務・労務・人材育成等の必要な知識習得を目的とした研修。

- ・ **日程**：平成28年1月17日，24日，31日，
2月21日，3月6日
- ・ **場所**：柏商工会議所
- ・ **参加**：24名



商店街ツアー



創業塾

柏市地方創生先行型事業 評価シート				
8	地域子育て支援拠点における子育て支援サービス機能強化事業			
担当部署	こども部 子育て支援課	担当者	恒岡	連絡先 内402
目的	子育て中の方の孤立防止や子育てのサポート強化に視点を置いた専門研修を地域子育て支援拠点(児童センター)の児童厚生員を対象に実施。こうした新規プログラムの導入や施設内の安全性・環境を整えることで、子育て支援の機能強化を図る。			
経費概要	旅費(講座受講旅費)…22,108円 消耗品(乳幼児親子向け環境整備)…624,672円 委託料(専門講座3種実施)…1,239,882円 備品(乳幼児親子向け環境整備)※安全マット等…550,152円 負担金(講座参加負担金) 338,904円	交付事業に要する経費	2,775,718円	
対応する総合戦略の重要業績評価指標			基準値	目標値
(19) ページ	子育て仲間が「いない」と回答した割合		16.9%	14.3%
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値
	指標①	受講者の満足度	50%以上が満足	98.7%
	指標②			達成度(%)
事業効果(自己評価)	○ ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった			
事業概要(進捗)	<p>【時系列で記入】</p> <p>4月～7月 : 講座等実施準備(講師・研修プログラム候補の研究・選定等)</p> <p>8月 : 契約手続き開始</p> <p>10月19日 : 地域子育て支援拠点向け専門基礎研修(参加:53名)</p> <p>11月～1月 : ペアレントプログラム講座(11/15, 12/13, 12/20, 1/10, 1/24, 1/31) (参加:保護者20名, 支援者21名) ※ペアレント・プログラムは、子どもとの関わり方に悩む保護者に対し、具体的な対応を考え実践する連続講座。この講座で、プログラムを実施できるスタッフを養成した(関東地区で初導入となった)。</p> <p>1月9, 10日: BPファシリテーター養成講座(参加:6名)</p> <p>1月～3月 : 保護者とのコミュニケーション講座(1/18, 2/15, 3/7)(参加:40名) 乳幼児親子向け環境整備(クッションマット, 加湿機, 講座用品購入) 新規プログラム導入準備</p>			
成果	<p>・講座の実施により、子育て支援の必要性の理解を深め、児童厚生員それぞれの対応力が向上した。研修のふりかえりレポートでは、乳幼児親子を温かく迎え入れることや、親子同士、地域、支援、につながる等について、対応の改善につながったことを複数の受講者が報告している。</p> <p>・機能強化のために、研修の実施と併せ利用環境を整えたことで、乳幼児親子にとって、より安全な環境となった。現場職員からは、安全マットなどが入ったことで、乳幼児親子により安心して通いやすい環境を提供できるようになったことや、新規プログラムを実施する環境が整ったことにより、支援機能の強化ができたことと評価を得ている。</p> <p>・新規プログラムを導入することで、子育ての不安に対し、より具体的に悩みを共有し学び合う場を提供できるようになった。</p>			
その他特記事項	・プログラム導入にあたり、周知や取り組みについて、関係課と連携を図っているため、さらに効果的な実施が期待できる(新規プログラムはH28年度に導入)。			
柏市地方創生総合戦略評価委員による評価				
KPIについて		意見		
	①総合戦略のKPI達成に有効であった			
	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない			

【地域子育て支援拠点における子育て支援サービス機能強化事業】

① 専門研修の実施

- 地域子育て支援拠点向け専門基礎研修（10月19日）

【主な内容】

- ・「地域子育て支援拠点のガイドライン」に基づく講義とワーク
- ・ふりかえりレポートの確認
- ・修了証発行

【成果】

専門研修修了者 53名



- 保護者とのコミュニケーション講座（1月～3月，全3回）

【主な内容】

保護者とのコミュニケーションを円滑に行うための講義，グループワーク，乳幼児親子向けの手遊び等の講座

【成果】講座修了者 50人，手遊び学習用DVD3枚

② 新規プログラムの導入・環境整備

- ペアレント・プログラム講座

（11月～1月，全6回）

【主な内容】

- ・ペアレント・プログラム講座実施（同プログラムのファシリテーター養成）
- ・修了証発行

【成果】

研修修了者 保護者20名，支援者21名

- BPファシリテーター養成講座（1月9～10日）

【主な内容】

- ・BPプログラムファシリテーター養成講座

(初めての子育てが始まった母親向けに仲間作りや子育てについて学ぶ講座を実施するファシリテーターの養成)

・ 修了証発行

【成果】

研修修了者 6名

● 消耗品, 備品購入

【内容】

新規プログラム導入及び, 乳幼児親子が安心して利用できる環境を整える。

【成果】

安全マット, 加湿機, 幼児親子用サークルソファ, アンプ, マイク, プロジェクター, スクリーン, ホワイトボード

柏市地方創生先行型事業 評価シート					
9	子育て施設(幼稚園・保育園)における子育て支援事業				
担当部署	こども部 保育運営課	担当者	塚・野口	連絡先 71(410・452)	
目的	全ての子どもへ良質かつ適切な支援が求められる中、市全体の教育・保育の質の向上を目指す。その一環として幼稚園や保育園の施設利用世帯へ子育ての安心感・満足感を提供するとともに、非利用世帯も各取り組みに参画できる機会を提供する。				
経費概要	負担金、補助金及び交付金(幼・保) 21,343,894円 委託料(幼児体育指導委託×2) 10,075,968円 備品購入費 2,984,040円 消耗品費 793,638円	交付事業に要する経費	35,197,540円		
対応する総合戦略の重要業績評価指標			基準値	目標値	
(19) ページ	「幼児教育・学校教育の充実」に対する市民満足度		H26年度 21.9%	H31年度 27.0%	
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値	達成度(%)
	指標①	利用世帯における満足度	30%	91%	303%
	指標②	非利用世帯が、初めて各園の取り組みに参加した組数	300組	計380組(幼327・保53)	127%
	指標③				
	指標④				
事業効果(自己評価)	○ ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった				
事業概要(進捗)	【時系列で記入】 <幼稚園(情報提供事業、親子ふれあい事業等)> 7月:私立幼稚園協会と事業メニューを検討 9月:事業メニューの決定、事業実施園の募集 私立幼稚園協会事務局にて、幼稚園入園等に関する情報提供開始(～2月)。情報提供事業利用者にはアンケートを実施。 11月:事業実施園の決定 12月:各園にて事業(園庭開放、親子ふれあい、親子教室。各事業の詳細は別添資料のとおり)開始(～3月)。参加者にはアンケートを実施 3月:補助金を交付		【時系列で記入】 <保育園(ホームタウンチームによる体育指導事業)> ～8月:事業内容検討、関係団体等と協議・調整 9月:柏ゴールデンホークスに体育指導を打診⇒応諾 同:柏ゴールデンホークスと契約、指導開始(～3月) 10月:レイトルTOR(緑TOR)に体育指導を打診⇒応諾 11月:レイトルTOR(緑TOR)と契約、指導開始(～3月) 2月:公立保育園で備品・消耗品を購入 3月:私立保育園に体育指導関連用品等購入費補助金を交付 同:保育園の利用者向けにアンケートを実施		
成果	<幼稚園> 実施環境を整備することで、私立幼稚園協会独自で幼稚園に関する情報提供事業の継続が可能となった。各園では、在園児と未就園児がともに参加する事業(親子ふれあい、親子教室)が児童間や保護者間の交流の場となるとともに、低年齢の未就園児向け備品類を充実させることで園庭開放の利用者拡大にもつながった。 <保育園> 柏市のホームタウンチームによる体育指導により、運動意欲への動機付けや体力向上、さらにはホームタウンチームを身近に感じることで柏市への愛着を高めるといった副次的な効果も得られた。また、関連備品を購入することで、各園において指導内容を継続実施することができ、保育の質の向上にも寄与した。				
その他特記事項					
柏市地方創生総合戦略評価委員による評価					
KPIについて			意見		
①総合戦略のKPI達成に有効であった					
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない					

【幼稚園における子育て支援事業説明資料】

①幼稚園に関する情報提供

(内容)

私立幼稚園協会事務所において、保護者に対し市内の認定こども園及び私立幼稚園の情報提供を行う窓口を開設するにあたり、準備にかかる費用の一部を補助する

②園庭開放

(内容)

幼稚園において、園庭・園舎を開放して就園児を対象にした各種遊びの場や、保護者からの相談を受けたり保護者間で交流できる場を提供するにあたり、実施に必要な備品類の購入費用を補助する

③親子ふれあい体験

(内容)

幼稚園において、未就園児（園児も可）及びその保護者を対象とした、自然に触れたり、遊びや学びを体験できる施設を訪れたり、あるいは園で開催される文化活動に参加する企画を実施するにあたり、実施にかかる費用の一部を補助する

(実施例)

ミニコンサート、東京スカイツリー見学、能体験

④親子教室

(内容)

幼稚園において、未就園児（園児も可）及びその保護者を対象とした、遊び、しつけの指導、親子の交流等を実施するにあたり、実施にかかる費用の一部を補助する

(実施例)

体操教室、キッズヨガ、正月遊び体験、化石のレプリカ製作

柏市地方創生先行型事業 評価シート					
11	地域資産の魅力向上事業				
担当部署	都市部 都市計画課	担当者	栗田	連絡先	73-454
目的	手賀沼周辺地域を含む東部地域は、地域資源の老朽や人口の減少、高齢化により地域の活力は減少し続けているが、良好な自然景観や歴史的景観を有する地域でもある。そこで、地域に残る歴史的景観資源を観光拠点として活用し、交流人口の拡大を今後図っていく。				
経費概要	委託料(学術調査、シンポジウム関係、標識作成) 1,915,426円 報酬・旅費(講評)9,380円	交付事業 に要する 経費	1,924,806円		
対応する総合戦略の重要業績評価指標			基準値	目標値	
(16) ページ	手賀沼・東部地域流動人口		661,300人	760,000人	
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値	達成度(%)
	指標①	イベント参加者数	70人	104人	
	指標②	当該資産の新規認知者数	500人	1,002人	
	指標③				
	指標④				
事業効果(自己評価)	○	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった			
事業概要(進捗)	【時系列で記入】 平成27年12月7日:景観重要建造物調査委託契約 平成28年1月14日:シンポジウムに係る案内ポスター及びチラシ、パネル作成委託契約 平成28年2月3日:景観重要建造物標識(来訪者へ景観重要建造物の所在及び概要説明するもの)作成委託契約 平成28年2月9日:シンポジウム運営委託契約 平成28年2月16日:シンポジウム参加者募集開始 平成28年2月23日:講演企画業務委託契約 平成28年3月19日:シンポジウム開催(参加者104名) (概要は添付ファイル参照)				
成果	・本事業にて市内初となる景観重要建造物を調査・指定することで、本市として保存すべき景観を認識し、目指すべき方向性を確立できた。 ・シンポジウムでは、目標人数を上回る参加者に対し、景観重要建造物を核とした様々な地域資源や、まちづくりの手法・活動を発信することができた。結果、参加者が景観という視点から地域資源を考え、まちづくりへの参画意識を高めた意義は大きいと考える。				
その他特記事項	・当事業に賛同した市民が市民団体を設立し、景観資源を伝え、繋げる活動をスタートした。当団体は本市として初めての景観まちづくり市民団体に認定され、当事業が市民の積極的な活動へ繋がったことは大きな成果であると考え。				
柏市地方創生総合戦略評価委員による評価					
KPIについて			意見		
	①総合戦略のKPI達成に有効であった				
	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない				

【地域資産の魅力向上事業委託概要】

①景観重要建造物調査委託

【成果物】

染谷家住宅基礎調査報告書
(全44ページ)

【主な内容】

鷺野谷周辺の地勢と歴史

染谷家の歴史

染谷家住宅の建造物に係わる史料

染谷家住宅の屋敷構成

現存する建造物の概要

類例概説

染谷家住宅の保存活用に向けて

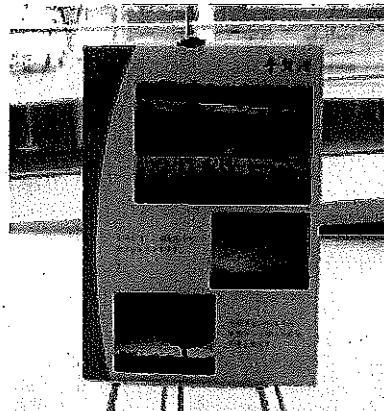
図版・史料一式



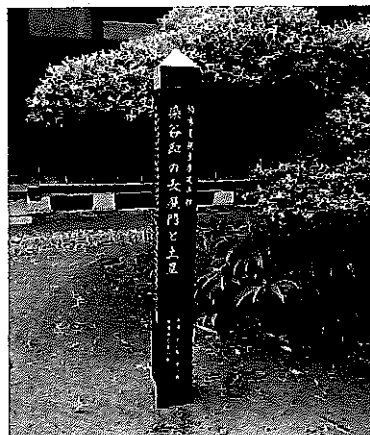
②シンポジウムに係る案内ポスター及びチラシ、パネル作成委託

【成果物】

- ・シンポジウム開催に係るポスター及びちらし
ポスター(A2)100枚
ちらし(A4)2500枚
- ・沼南地域における見所パネル(A1) 8枚



③ 景観重要建造物標識作成委託



④ シンポジウム運営委託

【シンポジウムの主な内容】

主催者挨拶

まちづくりに関する講演会

景観賞表彰式

景観重要建造物の紹介・指定式

手賀沼周辺地域の歴史・魅力に関する講演

手賀沼地域の魅力紹介パネル展示

【成果物】

シンポジウム実施報告書(全25ページ)

